



大都市 × 高齢化 × テクノロジー

未来の介護 大作戦

“未来の介護大作戦”
を始動！

世界をリードする介護先進都市へ

》 3つの取組の柱

Field

- 「北九州モデル」の推進
- 「未来型介護モデル施設」の整備
- (仮称)「テクノケア北九州」の開設

第1弾

Person

- 若手介護人材確保に向けた対策の強化
- 外国人介護人材の育成支援

第3弾

Global

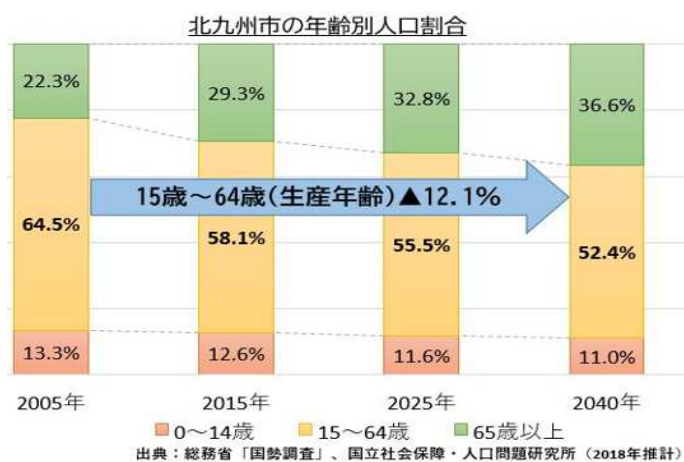
- 海外とのネットワーク強化

第2弾

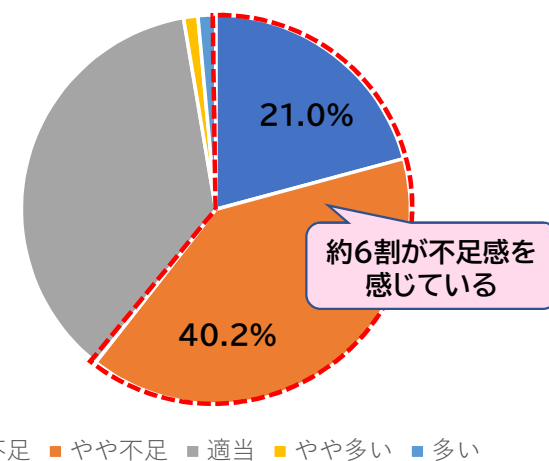
高齢化大都市のフロントランナーとして

- **高齢化率 政令市1位 31.2%** (2023.1.1)
- **人口の約3人に1人が高齢者** (65歳以上) **約29万人** (2023.1.1)
- **85歳以上は2040年まで増加** (2020年 5.1万人 → 2040年 8.1万人)
- **対応する介護人材の確保が急務** (介護職員不足数見込み 2040(令和22)年度 約4,000人)

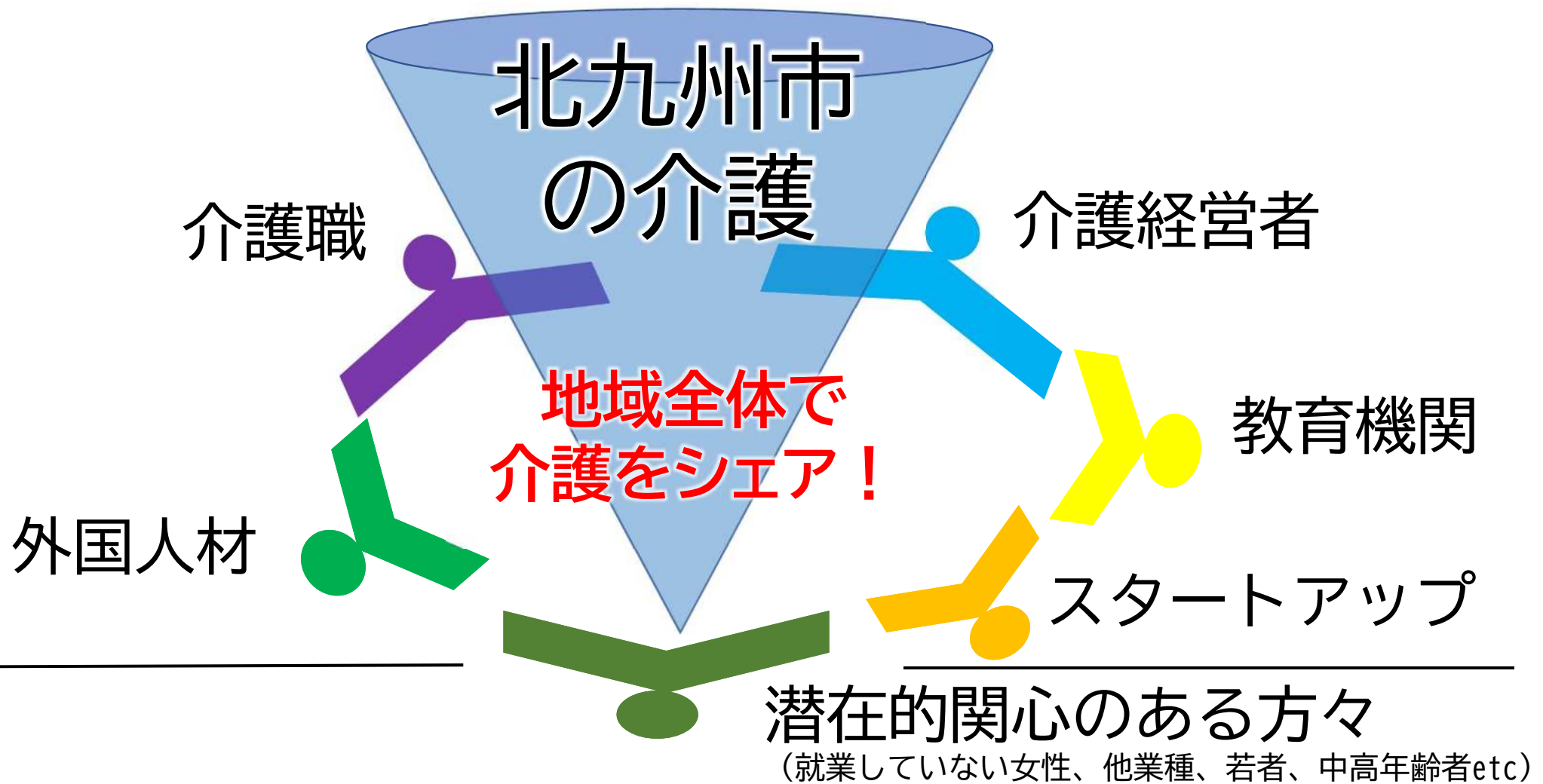
介護人材を取り巻く現状



令和5年度 北九州市介護保険サービス意向調査



「介護シェアリング都市」の実現



「介護シェアリング都市」への *Action!*

① 地域ぐるみの人材確保

介護スタート
アップ企業
との連携

若手介護人材の
コミュニティ形成

*人材の
すそ野拡大
*介護への
共感づくり

② 外国人介護人材の育成支援

高度な介護人材の育成
～介護福祉士資格の取得支援～

*外国人
介護人材の
育成と定着

多様な介護人材の確保

高齢期の「安らぐまち」の実現

介護スタートアップ企業との連携ステップ

介護職員不足見込み 1,500人

※令和8年度時点
※全国では22万人不足

シェアリング
サービスの
活用

介護に関わるきっかけづくり

・関係人口の増加
・多様な人材の参入

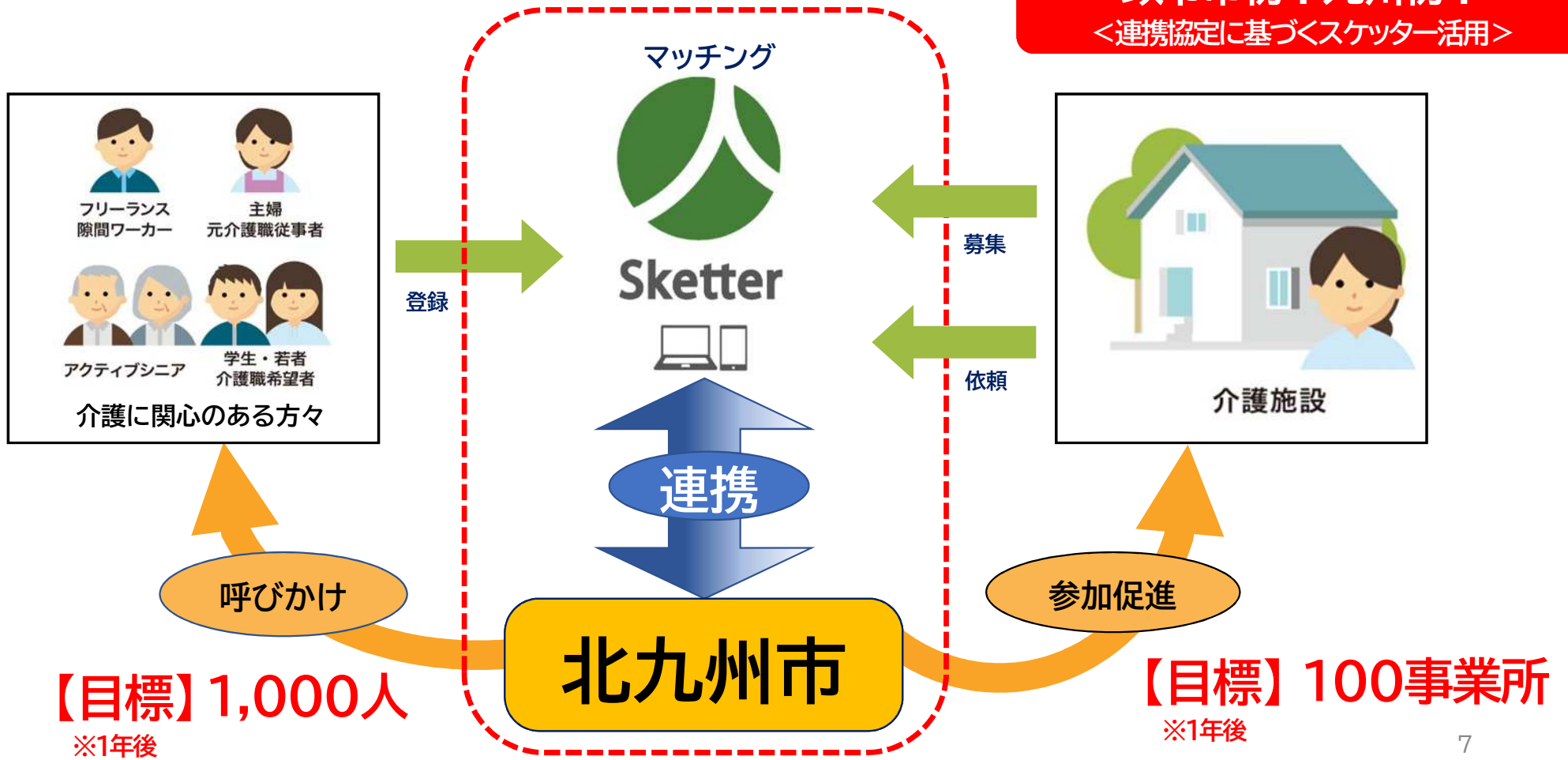
活動データを解析 ⇒ 潜在的な介護人材の「見える」化

人材確保のターゲティングに活用
就職 / ボランティア

介護人材確保の強化

「介護シェアリング」モデル事業の仕組み

政令市初！九州初！
<連携協定に基づくスケッター活用>



【目標】1,000人
※1年後

北九州市

参加促進

【目標】100事業所
※1年後

若手介護人材のコミュニティ形成

「介護みらい会議」の開催により、官民一体となった若手人材(～40歳)が繋がる「場」を形成

若手介護人材

11月23日(土)予定!

介護業界のスタートアップ企業の
若手経営者など



- ・北九州市の介護の未来を担う次世代リーダー人材の掘り起こし
- ・若手介護人材のネットワークづくり、コミュニティ形成

外国人 介護高度人材 育成プロジェクト

目的 外国人介護人材の育成を支援し、**高度な介護人材育成や良質な介護サービスの提供**につなげる。



人材育成の3つのステップ

九州医療スポーツ専門学校様と連携 (北九州市唯一の養成施設)

- ▷ 市内の**介護事業所**で活躍している**外国人**が対象！
- ▷ 「**介護福祉士資格取得**」のための**独自カリキュラムの実施**！



① 合格に向けた支援

- 受講者の募集、15名選定
- **支援メニュー**
(カリキュラム受講)の実施

② 介護福祉士の試験へ

- **合格率7割を目指す**
- 受講者が働いている現場の紹介

9月6日 開講!

1月 国家試験

③ 職場への定着

- **外国人介護人材の育成と定着**
- 介護事業所のレベルアップ
- 育成モデルの横展開



介護の質向上、職場環境の改善